

2024年度

事業報告書

自 2024年4月 1日
至 2025年3月31日

公益財団法人 根津美術館

東京都港区南青山6丁目5番1号

目次

I 公益事業.....	3
【事業の趣旨】	3
【施設の概要】	3
【事業の概要】	3
1. 展示活動.....	3
(1) 特別展・企画展	3
(2) 日本庭園	5
(3) ミュージアムショップ	5
(4) 喫茶店	6
2. 美術品の収集、保管及び修理.....	6
(1) 美術品の購入.....	6
(2) 美術品の寄贈受入.....	6
(3) 美術品の寄託受入.....	6
(4) 美術品の保管	6
(5) 美術品の修理.....	7
3. 調査研究.....	7
(1) 調査・研究.....	7
(2) データベース	8
(3) 研究資料の整備	8
(4) 学術プロジェクトへの参加	8
(5) 美術品の閲覧.....	9
4. 教育普及.....	10
(1) 催事.....	10
(2) インターネットによる広報	12
(3) プレスリリース	12
(4) ポスター・チラシ・年間スケジュールパンフレット	12
(5) 内覧会・レセプション	12
(6) 施設案内パンフレット	13
(7) 他美術館との協力.....	13
(8) 地域との連携.....	13
(9) 有料広告	13
(10) 根津倶楽部.....	14
(11) NEZUNET	14
(12) 青山茶会.....	14
(13) 懸釜.....	15
(14) 美術品の館外貸出	15

(15) 画像の貸出.....	17
(16) 施設の貸与.....	17
II 収益事業.....	18
【事業の概要】	18
1. 不動産事業.....	18
III 庶務の概要	18
1. 役員.....	18
2. 職員.....	20
3. 役員会	20
(1) 理事会.....	20
(2) 評議員会	22
IV 事業報告の附属明細書	23

I 公益事業

【事業の趣旨】

1940 年（昭和 15 年）11 月、初代根津嘉一郎（1860～1940）の遺志により財団法人を設立、翌年 10 月に開館した根津美術館は、美術品の展示及び教育・普及活動を行うことにより、多くの人々が日本・東洋古美術を鑑賞し、芸術・文化に関する理解を深めることを目的とした諸事業を展開している。

本年度もその理念に基づき、特別展 3 回と所蔵美術品による企画展 4 回を開催した。また、展覧会に関連した講演会、シンポジウム、スライドレクチャー、さらに会員向けプログラム、施設を利用した催事も各種、実施した。

引き続き所蔵美術品の調査研究を行い、その成果を展覧会に反映するとともに、紀要や図録等の刊行物により公表し、館外の学術研究及び教育普及活動への協力等を行った。また、継続的な収集活動によってコレクションの充実を図り、保管環境の整備や修理等により、美術品の維持・管理に努めた。なお、2025 年 3 月末の時点で、国宝 7 件、重要文化財 93 件、重要美術品 95 件をふくむ、計 7,637 件の美術品を収蔵している。

【施設の概要】

2009 年（平成 21 年）10 月に新創開館した本館は地上 2 階（展示室 1～6 等）、地下 1 階（講堂等）。1990 年に建設した展示施設を 2007 年に収蔵庫と事務室に改装した事務棟は地上 2 階、地下 1 階からなる。2009 年度に地域新エネルギー等導入促進対策費補助金補助事業で導入した、本館 2 階屋根上の 252 枚のソーラーシステムパネルを引き続き運用し、資源エネルギーの活用にも努めている。

日本庭園には、薬師堂および茶室 4 棟があり、各所に石造物約 150 件が据えられている。庭園の豊かな樹木は港区の保護樹林に指定されている。

【事業の概要】

1. 展示活動

（1）特別展・企画展

美術館の開館時間は、午前 10 時から午後 5 時までとし、月曜日と展示替期間及び年末年始を除く毎日開館した。特別展「国宝・燕子花図屏風—デザインの日本美術—」会期中の 5 月 8 日から 12 日までの 5 日間は、午後 7 時まで開館時間を延長した。また、快適な観賞空間確保のための入館者数のコントロールと事前決済による受付のスムーズ化を目的として、2020 年度の秋に導入したオンライン日時指定予約制を引き続き実施した。

入館料は、特別展一般 1,500 円、学生 1,200 円、企画展一般 1,300 円、学生 1,000 円とした（いずれも中学生以下は無料）。また、オンライン日時指定予約の利用促進のため、予約をしていない来館者には、上記の入館料に一律 100 円を上乗せした。障害者手帳提示者と同伴 1 名及び運転経歴証明書提示者へは 1 名につき 200 円の割引を行った。また、会員証の提示で、ICOM（国際博物館会議）は会員本人、日本博物館協会は会員本人と同伴者 1 名を無料とした。

2024 年度は、開館日数計 223 日間に、302,231 名（うち有料入館 279,384 名）と、開館以来はじめて 30 万人を超える来館者を迎えた。

展示室 1・2（展覧会によっては展示室 1 のみ）では、下記の特別展および企画展を開催した。同時に、展示室 5 では、特別展・企画展の内容とのバランスをはかり、それと異なるあるいは連動するジャンルやテーマに基づくテーマ展示を、また展示室 6 では季節に合わせた茶道具の展示を下記のとおり行った。

ホール～展示室 3「仏教美術の魅力」のうち、展示室 3 は 4 月 12 日から「日本の小金銅仏と仏具」

(小金銅仏3軀、鏡像1点、懸仏1点)、11月2日からは「鎌倉時代初期の仏像」(3軀)にそれぞれ展示替えを行った。また、展示室4「古代中国の青銅器」では青銅器の通期展示を行うとともに、展示室の一角に設けた覗きケースで、4月12日から「連弧文のある鏡」、7月27日から「和鏡と鏡箱」のテーマで中国と日本の鏡、また12月21日からは「黄金のきらめき 古代朝鮮半島の装身具」を展示した。

特別展および企画展は原則、所蔵美術品を中心に、適宜特別出品、参考出品等の作品により構成した。いずれの展覧会も、当館学芸部が企画し、担当学芸員が中心となっており、作品の選定、運搬、会場構成、展示、特別展図録等の作成を行った。いずれも、鑑賞しやすさを考慮した展示に努め、国内外からの来館者が理解しやすい日本語・英語表記の展示解説を付し、日本語の音声ガイドを備えた。また、外部業者に委託して、館内巡回の徹底と、来館者対応を補完し、快適な鑑賞環境の向上に努めた。

・特別展「国宝・燕子花図屏風 ―デザインの日本文学―」 展示室1・2

2024年4月13日(土)～5月12日(日) 展示日数27日間

同時開催「地球の裏側からこんにちは！―根津美術館のアンデス染織―」 展示室5

「初風炉の茶」 展示室6

入館者 62,559名(有料 57,979名)

・企画展「古美術かぞえうた 一名前に数字がある作品―」 展示室1・2

2024年6月1日(土)～7月15日(月・祝) 展示日数39日間

同時開催「江戸→東京 駆け抜ける工芸」 展示室5

「季夏の茶の湯」 展示室6

入館者 42,728名(有料 39,547名)

・企画展「美麗なるほとけ 一館蔵仏教絵画名品展―」 展示室1・2・5

2024年7月27日(土)～8月25日(日) 展示日数26日間

同時開催「追善の茶事」 展示室6

入館者 31,174名(有料 27,892名)

・企画展「夏と秋の美学 一鈴木其一と伊年印の優品とともに―」 展示室1・2

2024年9月14日(土)～10月20日(日) 展示日数32日間

同時開催「やきものに見る白のいろどり」 展示室5

「名残の茶」 展示室6

入館者 48,938名(有料 45,889名)

・特別展「百草蒔絵薬筆筒と飯塚桃葉」 展示室1・2

2024年11月2日(土)～12月8日(日) 展示日数32日間

同時開催「花と鳥たちの楽園」 展示室5

「炉開きの茶会」 展示室6

入館者 44,714名(有料 41,794名)

・企画展「古筆切 一わかちあう名筆の美―」 展示室1

2024年12月21日(土)～2025年2月9日(日) 展示日数35日間

同時開催「一行の書」 展示室2

「古代中国鏡のミクロコスモス」 展示室5

「初月の茶会」 展示室6

入館者 38,658名(有料 35,314名)

・特別展「武家の正統 片桐石州の茶」 展示室1・2

2025 年 2 月 22 日（土）～3 月 30 日（日） 展示日数 32 日間

同時開催「百椿図―江戸時代の椿園芸―」 展示室 5

「春情の茶の湯」 展示室 6

入館者 33,460 名（有料 30,969 名）

なお、2020 年度からの新型コロナウイルスの流行による影響で激減した外国人入館者の割合も回復、コロナ禍以前の水準を上回るまでになった。過去 6 年間の年間平均の推移は以下のとおり。

2019 年度	27.3%
2020 年度	4.1%
2021 年度	3.8%
2022 年度	18.8%
2023 年度	40.0%
2024 年度	47.0%

海外からの要人の往来が増加するにつれ、当館での受け入れも昨年より増加した。在京外国公館からの入館者数には引き続き大きな変動はなかった。

（2）日本庭園

17,000 平米におよぶ日本庭園は、中央に湧水の池を配する変化に富んだ地形に喬木や灌木が茂り、池の周囲に建つ 4 棟の茶室や点在する約 150 件の石造物が風情を添える。四季に応じた自然の変化を楽しむことのできる庭園の存在は、当館の特色のひとつでもある。本年度も、樹木の剪定・枯枝の除去、散策路の整備等を意欲的に行い、来館者の安全安心を最優先した環境の整備に心がけ、生態系の維持管理に努めた。特に、専門の樹木匠に約 1 千本の樹木を対象に本格的な点検を依頼し、危険と判断された木や枝について、伐採または保全措置を講じることを進めた。

原則毎月木曜日に 1 棟ずつ、一般来館者向けの茶室見学会を実施した。

東京都建設局公園緑地部の呼びかけに応じ、「東京の日本庭園おもてなし協議会」に引き続き参加した。春と秋に発行される「東京いい庭キャンペーン」の冊子（日本語、英語）の掲載・配布協力を例年どおり行った。定期会合を通じた意見交換等の活動に参加。紅葉の時期には、例年どおり茶室周辺の茶庭の開放と X フォトギャラリーを実施した。猛暑のあとで樹木への影響が心配されたが、美術館入館が予約制となった中でも昨年同様の投稿があり、身近に自然の移り変わりを楽しむ場としてのニーズが引き続き高いように感じられた。

（3）ミュージアムショップ

ホールに隣接するミュージアムショップでは、当館の施設や所蔵美術品、開催の展覧会に関連した商品を取り揃え、来館者の多様なニーズに合った、また知的欲求に合う商品の販売活動を行った。

学術研究の成果に基づく図録や研究紀要等の書籍に加え、展覧会の内容を考慮した専門書・一般書籍を販売するとともに、出展作品の絵葉書やグリーティングカード類、また所蔵美術品をもとにデザイン性や適正な価格を考慮したオリジナル商品を企画・制作・販売した。さらに、適宜、季節や展覧会のテーマに合った委託商品を加えることでバリエーション豊かな商品構成とし、また効果的なディスプレイを工夫することにより、当館ならではのショップづくりを促進した。

本年度、新たに制作したオリジナル商品は 8 品目、49 種類。特別展「百草蒔絵葉筆筥と飯塚桃葉」の開催にあわせ、「百草蒔絵葉筆筥」の銀製合子にほどこされた文様を選び、シールと付箋に展開した。また、珠光緞子の本歌ともいわれる当館所蔵「肩衝茶入 銘 松屋」の仕覆裂「龍三爪緞子」の

複製（京都・龍村美術織物）は、これまで袱紗や数寄屋袋、和装のバッグなどとして商品化してきたが、新たにノート PC ケース、ポーチ、名刺入れをそれぞれ 3 色で制作した。また、絵葉書を再販する場合は管理しやすいようにバーコード付きとし、本年度は 34 種類制作した。

（４）喫茶店

庭園内に設置された NEZUCAFÉ は、来館者の憩いや談話の場である。定番の商品に、季節に応じた新商品を適宜加えることでメニューに変化をつけ、魅力あるメニュー作りを行ってきた。新型コロナウイルス感染症対策の一環として中止していた抹茶の提供を、1 日 10 セット限定で再開した。また、特別展「尾形光琳の燕子花図—デザインの日本美術—」の会期中は、カフェでの提供のかわりに、庭園内茶室（披錦齋）で呈茶を行った。27 日間で 8,498 名（1 日平均 315 名）が利用した。

2. 美術品の収集、保管及び修理

（１）美術品の購入

本年度、下記的美術品を購入した。

重要文化財 楼閣人物填漆筆筒 1 合
俳句短冊 与謝蕪村筆 1 幅
俳句短冊 小林一茶筆 1 幅
節分図 高嵩谷筆 1 幅
獅子舞図 谷文晁筆 1 幅
追儼図 円山応震筆 1 幅
犬宮・貝桶・枝垂れ桜図 鈴木守一筆 1 幅

（２）美術品の寄贈受入

本年度、美術品の寄贈受入はなかった。

（３）美術品の寄託受入

本年度、美術品の寄託受入はなかった。

（４）美術品の保管

所蔵美術品の保管を万全にするために、以下の作業を行った。

（展示施設）

- ① 展示施設内の虫害に対する、トラップを用いたモニタリング調査を、年間 2 回（5 月 16 日～6 月 18 日、9 月 20 日～10 月 18 日）実施して、施設環境の監視を行なった。
- ② 展示ケース内の除塵防黴作業を、年間 4 回（4 月 1 日～4 日、5 月 14 日、9 月 2 日～4 日、12 月 10 日～11 日）に分けて行った。
- ③ 展示ケース等の展示什器を保管する備品庫 1 の簡易除塵防黴及び簡易燻蒸（清掃及び文化財害虫用薬剤散布）を年間 1 回（5 月 15 日～16 日）行った。
- ④ 虫害の可能性がある展示什器類や新規作成した保存箱等の被覆燻蒸施工を、年間 2 回（5 月 14 日～17 日、2 月 11 日～14 日）行った。
- ⑤ 壁付展示ケース及び移動ケースのメンテナンス作業を、年間 3 回（5 月 27 日、8 月 29 日、12 月 10 日）行った。
- ⑥ 展示ケース内の環境を確認するため、パッシブインジケータを用いた酸・アルカリの濃度計

測を、年間2回（8月6日～9日、3月4日～7日）行った。

- ⑦ 展示施設内の温湿度環境モニタリングのため、11月12日にデータロガー（温湿度測定・記録計）計24台のバッテリー交換を行った。
- ⑧ 展示ケースの照明性能を維持するため、調光制御ユニット及びファイバースポットライト光源装置の更新作業を、8月26日～9月3日に実施した。

（収蔵施設）

- ① 収蔵庫の虫害に対する、トラップを用いたモニタリング調査を、年間2回（5月16日～6月18日、9月20日～10月18日）実施して、収蔵環境の監視を継続した。
- ② モニタリング調査の結果をもとに、収蔵庫・前室に対し職員による大規模清掃を年間1回（11月26～27日）、専門業者による除塵防黴作業を年間1回（3月27日～29日）実施。さらに写真場・前室に対し除塵防黴作業を年間1回（7月10日～11日）実施。また企画展示仮置場・前室に対し除塵防黴作業を年間1回（1月16日～17日）実施した。
- ③ 収蔵庫内の温湿度環境モニタリングのため、11月13日にデータロガー（温湿度測定・記録計）計15台のバッテリー交換を行った。

（5）美術品の修理

以下の所蔵美術品の修理を実施した。

- ① 国庫補助修理
重要文化財 花白河蒔絵硯箱 1合 目白漆芸
- ② 自費修理
大天地 良寛筆 1幅 半田九清堂
鏡山図 1幅 半田九清堂
毘沙門天立像 1軀 あきかわ造仏所
紅白浅黄段枝垂尾長模様縫箔 1領 共立女子大学
刀剣手入 170振 本阿弥雅夫

3. 調査研究

（1）調査・研究

引き続き、所蔵美術品に関わる調査・研究を行い、新たな知見を、後記のとおり展覧会や館外での学会等で発表するとともに、研究成果にもとづく研究紀要および所蔵品図録を出版した。所蔵品図録では、2020年度より「新蔵品選」全12冊（予定）の刊行を開始、今年度は第7冊として「仏画」、第8冊として「考古」を発行した。

- ① 紀要
『根津美術館紀要 此君 第16号 特集 国際学術シンポジウム「北宋書画精華」』
2025年3月31日発行 800部
- ② 所蔵品図録
『根津美術館 新蔵品選 仏画』 2024年7月27日発行 3,500部
『根津美術館 新蔵品選 考古』 2024年12月21日発行 2,500部
『鑑賞シリーズ 古筆切』改訂版 2024年12月15日発行 2,000部
- ③ 特別展図録
『百草蒔絵葉筆筒と飯塚桃葉』 2024年11月2日発行 3,000部

『武家の正統 片桐石州の茶』	2025 年 2 月 22 日発行	3,000 部
④ そのほか 『青山緑水』	2025 年 8 月 22 日発行 (3 版)	3,000 部

(2) データベース

2009 年度に基本システムが完成した当館の収蔵品データベースについて、データの入力・更新、デジタル画像の登録、ならびにシステムの改善を行った。アルバイト 1 名を雇用し、下記の作業を行った。

- ① 引き続き、展示履歴および作品解説の入力作業を行った。また、前年に引き続き、画像の閲覧性を高めるべく、画像の配列を改良した。
- ② 新規撮影したデジタル画像の登録を、引き続き行った。

(3) 研究資料の整備

美術品の調査・研究に必要な研究図書や研究資料の購入・収集・整理を行った。

- ① 昨年度に引き続き、図書の受入や収蔵図書データベースの整備や修正を行うことで、図書管理体制の充実化を図った。アルバイト 2 名を雇用し、購入・受贈図書の新規受け入れの他、海外の展覧会図録の曝書（蔵書点検）とデータの見直し、及び修正を進めた。また、館員の図書利用規則を改訂し、資料の円滑活用と適切な保管維持を図った。
- ② 美術館・博物館等 198 機関の学術刊行物、および当館作品掲載図書等 582 冊を受贈した。
- ③ 展覧会の開催や当館所蔵品の研究のため、162 冊の図書・雑誌を購入した。

(4) 学術プロジェクトへの参加

・展覧会図録、学術研究誌および単行本上に、下記のとおり、当館学芸員が研究成果を発表した。

- 野口 剛 「琳派、草花へのまなざし」(『小原流插花』8月号)
「玄龍(玄庵)筆 物外和尚送別図」(『國華』1553号)
「日本の古画に見る自然と色彩」(『紫明』56号)
「「月光」と詩情の回復一師・円山応挙との関わりからみた長沢芦雪の史的意義」
(『東京大学文学部美術史研究室研究紀要 美術史論叢』41号)
[翻訳] ジョセフ・シャイヤー・ドルバーグ「探索する手—李公麟とスケッチ—」
(『根津美術館紀要 此君』16号)
- 永田智世 「江戸後期における蒔絵表現の諸相—飯塚桃葉作「百草蒔絵葉筆筥」を中心に—」
(『國華』第1546号)
「百草蒔絵葉筆筥と飯塚桃葉」(『百草蒔絵葉筆筥と飯塚桃葉』根津美術館)
- 下村奈穂子 “The Korean Art Collection of the Nezu Museum: The Kōrai Tea Bowls Collected by the Founder, Nezu Kaichirō, Sr.” (*The Review of Korean Studies*, Nō.27)
「石州が用いた道具—茶の系譜を示す茶杓と茶入—」
(『武家の正統 片桐石州の茶』根津美術館)
- 松原 茂 [講演録]「舶載唐紙について」(『「國華清話会」会報』43号)

・館外の研究・教育機関等の依頼により、下記のとおり、当館学芸員が講演を行った。

- 本田 諭 「上野記念館の文人画コレクション」(「とちぎ江戸絵画の底力 珠玉の上野記念館コレクション」展シンポジウム 於 文星芸術大学講堂)

- ・文部科学省・文化庁・教育委員会、独立行政法人および公私立の博物館・美術館等の要請により、下記のとおり、当館学芸員が、美術品の指定、購入、修理、技術保存、館の運営に関わる会議に委員として参画した。

野口 剛	東京国立博物館	買取文化財価格評価会
	東京国立博物館	寄贈文化財価格評価会
本田 諭	東北歴史博物館	資料評価委員会
	栃木県立博物館	資料評価委員会
	足利市文化財専門委員会	
	宇都宮市文化財保護審議委員会	
永田智世	文化庁 国宝春日大社古神宝類復元模造事業審査委員会	
	東京国立博物館	寄贈文化財価格評価会
福島洋子	東京国立博物館	修理契約委員会
西田宏子	佐賀県文化財保護審議会	
松原 茂	東京国立博物館	有形文化財買取協議会（常任委員）

- ・文化庁、独立行政法人、公私立の博物館・美術館および研究者の要請により、下記のとおり、当館学芸員が、学術研究に参画した。

本田 諭	栃木県立博物館	調査研究協力員
松原 茂	東京国立博物館	客員研究員

（５）美術品の閲覧

以下のとおり、所蔵美術品の特別閲覧を行った。

[2024 年]

4 月 19 日	五島美術館（2 名）	織物手鑑 他 2 件
4 月 19 日	鶴見大学（2 名）	屈輪彫彩漆盆 他 3 件
5 月 23 日	ハーバード大学美術館（1 名）	重文 夏秋溪流図屏風 他 2 件
5 月 30 日	京都国立博物館（1 名）	伯庵茶碗 他 1 件
5 月 31 日	東京大学東洋文化研究所（2 名）	国宝 布袋蔣摩訶図 他 1 件
6 月 5 日	古河歴史博物館（2 名）	雪華図罽 他 13 件
6 月 6 日	江戸千家（2 名）	重文 青井戸茶碗 銘 柴田 他 1 件
6 月 12 日	海の見える杜美術館（3 名）	孝子図
6 月 27 日	海の見える杜美術館（3 名）	陸續丁蘭図
6 月 28 日	創価大学（3 名）	重文 大乘法界無差別論疏
7 月 12 日	東京国立博物館（5 名）	能面 31 件
7 月 12 日	日本美術刀剣保存協会山梨県支部（1 名）	鍵透罽 他 7 件
7 月 24 日	サントリー美術館（1 名）	重文 百草蒔絵薬箆筒
7 月 28 日	韓国国立中央博物館（3 名）	地藏菩薩本願経変相図
8 月 8 日	東京文化財研究所（5 名）	酒吞童子絵巻 他 1 件
8 月 15 日	上海博物館（2 名）	陸續丁蘭図 他 4 件
8 月 21 日	武蔵野美術大学（2 名）	四君子図揃金具 他 2 件
9 月 18 日	滋賀県立大学（1 名）	新羅太環耳飾 他 4 件

9月20日	目白漆芸文化財研究所（1名）	重文 百草蒔絵薬筆笥
9月29日	立正大学（1名）	重文 二仏並坐象
10月10日	国文学研究資料館（3名）	舞の本絵本断簡
10月11日	国文学研究資料館（3名）	舞の本絵本断簡
11月7日	山種美術館（3名）	初秋の夕図 他2件
11月13日	九州国立博物館（2名）	重文 春日補陀落山曼荼羅 他2件
11月14日	韓国国立中央博物館（1名）	地藏曼荼羅
11月20日	九州歴史資料館（1名）	高取焼陶片
11月20日	筑波大学（1名）	遼磁陶片
11月29日	奈良国立博物館（3名）	阿弥陀八大菩薩像
12月26日	泉屋博古館東京（1名）	初秋の夕 他3件

[2025年]

1月19日	神戸大学（1名）	倣馬麟夕陽山水図 他1件
1月21日	泉屋博古館東京（1名）	誰が袖図屏風 他2件
1月22日	東京国立博物館（1名）	楼閣人物螺鈿箱 他6件
1月22日	中之島香雪美術館（1名）	国宝 布袋蔣摩訶図 他1件
1月23日	大和文華館（2名）	重文 饗饗文方盃 他1件
1月23日	黒川古文化研究所（1名）	富士越龍図罽 他4件
2月12日	大阪大学（6名）	重美 観音菩薩立像 他4件
2月23日	静嘉堂文庫美術館（1名）	重文 春日宮曼荼羅 他1件
3月7日	東京国立博物館（3名）	重文 青磁筍花入 他2件
3月6日	五島美術館（2名）	南蛮芋頭水指 他5件
3月19日	五島美術館（2名）	祥瑞瑠璃釉瓢形德利 他5件
3月14日	園田学園女子大学（1名）	不空三蔵表制集
3月18日	東京藝術大学（5名）	笙
3月26日	和泉市久保惣記念美術館（2名）	在原業平像 他2件

計 43 件 閲覧者 90 名 作品総数 155 件

4. 教育普及

(1) 催事

特別展・企画展ごとに担当学芸員によるスライドレクチャーを実施した。また、特別展「百草蒔絵薬筆笥と飯塚桃葉」と同「武家の正統 片桐石州の茶」では外部講師による講演会を実施した。開催実績および出席者数は下記のとおりである。いずれも、当館講堂にて実施した。

[2024年]

・特別展「特別展 国宝・燕子花図屏風 ―デザインの日本文学―」

スライドレクチャー（第1回）4月19日（金）11:30～12:15	参加者 107 名
スライドレクチャー（第2回）4月26日（金）11:30～12:15	参加者 93 名
スライドレクチャー（第3回）5月8日（水）17:30～18:15	参加者 90 名

・企画展「古美術かぞえうた ―名前に数字がある作品―」

スライドレクチャー（第1回）6月14日（金）11:30～12:15	参加者 52 名
スライドレクチャー（第2回）6月28日（金）11:30～12:15	参加者 60 名

・企画展「美麗なるほとけ ―館蔵仏教絵画名品展―」

- スライドレクチャー（第1回）8月2日（金）11:30～12:15 参加者 100 名
スライドレクチャー（第2回）8月16日（金）11:30～12:15 参加者 40 名
・企画展「夏と秋の美学 ―鈴木其一と伊年印の優品とともに―」
スライドレクチャー（第1回）9月20日（金）11:30～12:15 参加者 98 名
スライドレクチャー（第2回）10月4日（金）11:30～12:15 参加者 102 名
・特別展「百草蒔絵葉筆筒と飯塚桃葉」
講演会（第1回）11月9日（土）13:30～15:00
室瀬和美氏（重要無形文化財「蒔絵」保持者）「ここがスゴい！飯塚桃葉のわざ」参加者 95 名
講演会（第2回）11月17日（日）13:30～15:00
高橋京子氏（大阪大学総合学術博物館招へい教授）「蜂須賀家お殿様のおくすり手帳―百草蒔絵葉筆筒の謎」参加者 82 名
特別催事・素浄瑠璃「傾城阿波鳴門 順礼歌の段」11月30日（土）15:00～16:00
豊竹呂勢太夫氏・鶴沢藤蔵氏 参加者 101 名
スライドレクチャー（第1回）11月8日（金）11:30～12:15 参加者 59 名
スライドレクチャー（第2回）11月29日（金）11:30～12:15 参加者 95 名

[2025 年]

- ・企画展「古筆切 ―わかちあう名筆の美―」
スライドレクチャー（第1回）1月10日（金）11:30～12:15 参加者 96 名
スライドレクチャー（第2回）1月24日（金）11:30～12:15 参加者 99 名
・特別展「特別展 片桐石州 ―江戸の武家の茶―」
講演会 3月8日（土）14:00～15:30
熊倉功夫氏（MIHO MUSEUM 館長）「片桐石州の茶の湯」参加者 117 名
スライドレクチャー（第1回）2月28日（金）11:30～12:30 参加者 89 名
スライドレクチャー（第2回）3月21日（金）11:30～12:30 参加者 93 名

加えて、特別企画として下記の催事を実施した。特別な記載がないものは、当館講堂にて実施した。

[2024 年]

- ・「出帛紗・古帛紗を作ってみよう」
8月10日（土）講師：永井亜希乃氏（茶器袋物師）
定員 30 名（15 名×2 回） 参加費 12,000 円（出帛紗）/8500 円（古帛紗）
申込者 30 名、参加者 29 名
・「茶杓をけずってみよう」
9月28日（土）講師：池田泰輔氏（竹楽会講師・竹芸家）
定員 20 名（10 名×2 回） 参加費 10,000 円 申込者 20 名、参加者 19 名
・「現代茶人の茶席」 場所：一樹庵・披錦斎、ならびに牛部屋・閑中庵
10月12日（土） 石塚 修氏
10月20日（日） 岸本 耕氏
各日定員 65 名（13 名×5 席） 参加費 8,000 円 申込者 130 名、参加者 128 名

[2025 年]

- ・「いけばな展示―茶室で楽しむ椿のこころ―」 場所：弘仁亭・無事庵
2月28日（金）～ 3月2日（日）午前10時から午後4時まで（3月2日は午後3時まで）
いけばな：華道家元池坊 次期家元 池坊専好氏

参加費 無料、参加者 1,069 名

(2) インターネットによる広報

展覧会や各種の催事、施設等の情報発信窓口である当館ウェブサイト(<https://www.nezu-muse.or.jp>)は目下、日本語版と英語版をそれぞれPC、携帯端末の双方で適正に閲覧できるかたちで運営している。年間の閲覧回数は1,732,861セッション、ユーザー数は1,201,900名であった。また、ユーザーのうち日本語以外の言語環境が占める割合は約19%、日本以外の地域からのアクセスは約11%であった。

ウェブサイトにくぐ情報発信ツールとして利用しているFacebookのフォロワー数は約44,000名とやや増加した。Xでのフォロワー数は期初の約55,000名から約59,000名に、3年目となったInstagramのフォロワー数は約2万人を突破した。特にFacebookとInstagramでは、展示作品に関する投稿や入館方法の案内、庭園の季節の見どころ等の情報の投稿を、常に日本語・英語のバイリンガルで行うこととした。

(3) プレスリリース

美術館や展覧会の情報を、各種メディアに告知するプレスリリースを発信し、各展覧会の開催時期に合わせた各種パブリシティへの掲載、雑誌での特集記事やテレビ番組への協力を促進した。特に、展覧会ごとのポスター・チラシのデザインをプレスリリースにも使用し、展覧会のコンセプトを一貫したイメージで訴求できるように、それに伴う制作スケジュールの管理・運用を行っている。国内のみならず、海外の各種メディアからの問い合わせに対して情報を提供し、ニーズに合った対応に引き続き努めた。また、タイムリーな情報提供と環境負荷の低減の観点から、希望者に対しては広報資料のメール配信を引き続き行っている。さらに第4四半期からはプレスリリース配信サービスも利用開始。主流となりつつあるウェブメディアでの掲載情報の捕捉に努めるとともに、さらに効率よく広範囲な情報提供を目指す。

(4) ポスター・チラシ・年間スケジュールパンフレット

引き続き、館外3か所に開催中の展覧会ポスターを掲示。館内には次回展のポスターとチラシや、年間スケジュール、根津倶楽部パンフレットを常備し、美術館および展覧会の認知度アップに努めた。英語版の館内配布用展示目録パンフレットならびに英語版チラシの作成・配布を引き続き行った。今年度も、各展覧会の開催時期に合わせ、近隣の商店や公共施設、文化教育施設、美術館、博物館、古美術商等に展覧会のポスターやチラシを配布し、各展覧会の内容に即した特定団体への情報提供を行うなど、きめ細かな誘客活動に努めた。

(5) 内覧会・レセプション

展覧会の開催日前日(年度内7回)に、各種メディア向けの記者内覧会を実施して、展覧会の担当学芸員による展示解説を行い、メディアによる宣伝活動の促進を目指した。また2件の特別展で特別内覧会を開催した。

- ・特別展「国宝・燕子花図屏風—デザインの日本美術—」:4月13日(金)

記者内覧会 出席者 48 名

- ・企画展「古美術かぞえうた一名前に数字がある作品—」:5月31日(金)

記者内覧会 出席者 27 名

- ・企画展「美麗なるほとけ—館蔵仏教絵画名品展—」:7月26日(金)

	記者内覧会	出席者 33 名
・企画展「夏と秋の美学―鈴木其一と伊年の優品とともに―」：9 月 13 日（金）		
	記者内覧会	出席者 36 名
・特別展「百草蒔絵葉筆筥と飯塚桃葉」：11 月 1 日（木）		
	記者内覧会	出席者 25 名
	特別内覧会	出席者 328 名
・企画展「古筆切―わかちあう名筆の美―」：12 月 20 日（金）		
	記者内覧会	出席者 22 名
・特別展「武家の正統 片桐石州の茶」：2 月 21 日（金）		
	記者内覧会	出席者 48 名
	特別内覧会	出席者 285 名

（６）施設案内パンフレット

日本語・英語・仏語・中国語のパンフレットを館内に常備している。また外部の観光案内施設等から要望がある場合も送付サービスを行っている。

（７）他美術館との協力

- ・例年実施してきた三井記念美術館、五島美術館との共同企画として「秋の三館 美をめぐる」キャンペーンを実施した。
- ・引き続き、美術館関連団体に加入することで、他の美術館との情報交換を推進し、美術館業界の活性化に努めた。

（８）地域との連携

- ・港区内の美術館として、本年度も、同区が年 2 回発行する広報誌『港区ミュージアムネットワーク』に展覧会情報を掲載した。
- ・展覧会のポスターやチラシを館員が持参して近隣商店や団体に届けることにより、緊密な関係構築に努めた。
- ・近隣の港区立小学校に併設されている学童保育施設「放課 Go!クラブ」の児童の展示見学を、毎展覧会実施。対象学年も 3 年生からと拡大し、今後も継続していく予定である。
- ・港区立青山生涯学習館で、根津美術館の紹介と企画展「古筆切 ―わかちあう名筆の美」の見どころについて担当学芸員が講演を行い、その後参加者が展覧会を見学した（2 月 29 日実施）。

（９）有料広告

今年は 3 展覧会で新聞広告を実施し、あらたに WEB 広告を加えた SNS 広告は展覧会の内容、ビジュアルとの親和性を考慮しつつ 3 展覧会において実施した。

- ・特別展「国宝・燕子花図屏風―デザインの日本美術―」：朝日新聞朝刊、WEB 広告（Yahoo）
- ・企画展「古美術かぞえうた一名前に数字がある作品―」：Facebook、Instagram
- ・企画展「美麗なるほとけ―館蔵仏教絵画名品展―」：Facebook、Instagram
- ・企画展「夏と秋の美学―鈴木其一と伊年の優品とともに―」Facebook、Instagram、WEB 広告（Yahoo）
- ・特別展「百草蒔絵葉筆筥と飯塚桃葉」：朝日新聞朝刊、Facebook、Instagram、WEB 広告（Yahoo）
- ・企画展「古筆切―わかちあう名筆の美―」：Facebook、Instagram

・企画展「武家の正統 片桐石州の茶」：朝日新聞朝刊、Facebook、Instagram

また、2025 年の展覧会を紹介するために、12 月発行の『日経おとなの OFF 2025 年絶対に見逃がせない美術展』に年間展覧会スケジュールを掲載した（カラー、1 頁）。

本年度も引き続き、地下鉄・表参道駅のポスター（チラシ配布用ポケット付）掲示を、7 展覧会において、それぞれ 2 週間ずつ実施した。これを通じ、同駅利用者に毎回 300 枚～400 枚程度のチラシを配布することができた。

（１０）根津倶楽部

「根津倶楽部」は、固定客層の獲得を目的として、2009 年に開始した会員組織である。2012 年の第 1 回の制度改定に続き、美術館新創開館 10 周年を迎えた 2019 年に第 2 回制度改定を行なった。結果、2024 年度末の会員数は 888 名となった。

（１１）NEZUNET

根津美術館の会員制メールマガジン「NEZUNET」（会費無料）は、新創開館以来会員数が増え続け、2024 年度は新たに 906 件のメールアドレス登録があり、2024 年度末現在の会員数（メールアドレス登録件数）は 11,234 名となった。本年度は 7 回メールマガジンを配信した。

（１２）青山茶会

「青山茶会」は、茶道にある程度習熟した人々を対象に、茶道美術への理解と普及、および当館のファンやリピーターを増すことを目的として、茶会と講座への参加及び入館料無料の特典を提供する会員制度（有料）である。2024 年度は 2023 年度と同様の年会費、茶会と講座の実施回数、募集人数で実施した。

[2024 年]

第一回講座	4 月 20 日(土)	参加者 88 名
	帝塚山大学 善田のぶ代氏「古染付と祥瑞」	
第一回茶会	6 月 15 日(土)	参加者 92 名
	席主：武者小路千家 千 宗守氏	
	展観席：根津美術館	
	蓮池白鷺図 梅隠筆、瀬戸翁手茶入 銘 宇都山、熊川 雨漏茶碗 他 5 件	
第二回講座	7 月 27 日(土)	参加者 80 名
	遠山記念館 依田 徹氏「幕末維新期の茶の湯—酒井忠義と前田利鸞」	
第二回茶会	11 月 16 日(土)	参加者 92 名
	席主：遠州茶道宗家 小堀宗実氏	
	展観席：根津美術館	
	大林宗套墨蹟 法語 沢庵宗彭跋語、瀬戸正木手茶入 銘 正木、錐呉器茶碗 銘 張木 他 5 件	

[2025 年]

第三回講座	2 月 1 日(土)	参加者 70 名
	根津美術館 松原 茂「古筆切を観る」	
第三回茶会	3 月 15 日(土)	参加者 93 名
	席主：表千家不白流 川上宗順氏	

展観席：根津美術館

天祐紹杲・清巖宗渭 墨蹟 「関」「喝」一大字、利休瀬戸茶入 銘 一夜、黒樂茶碗 銘 破衣 吉兵衛焼 他 5 件

(13) 懸釜

・第一〇八回 大師会茶会

2025 年 3 月 24 日 (月)・25 日 (火)

根津美術館庭園内茶室 一樹庵・披錦斎

作品：10140 弘法大師絵伝	1 幅	
50052 観音牡丹唐草螺鈿硯箱	1 合	
40545 赤絵中丸蓮香合	1 合	
八角炭斗	1 口	
60077 青鸞羽箒	1 本	
30345 桑柄桜皮巻火箸	1 対	
30221 鉄大角豆鑲 明珍作	1 組	
60081 籐組釜敷	1 枚	
41113 長次郎焼灰器	1 口	
桑柄灰匙	1 本	
00013 金剛般若経開題断簡	1 幅	
30157 古銅柑子口花入 銘 三千年	1 口	
30187 重要文化財 芦屋霰地松梅図真形釜	1 口	
沢栗炉縁	1 基	
30221 信楽一重口水指 銘 龍鱗	1 口	
40013 瀬戸小川手茶入 銘 花染	1 口	
40212 重要美術品 大井戸茶碗 銘 三芳野	1 口	
金モール帛紗	1 枚	
60040 茶杓 銘 よろほし 共筒 千宗旦作	1 本	計 19 件 21 点

(14) 美術品の館外貸出

以下の展覧会に、所蔵美術品の館外貸出を行った。

・「大吉原展」 東京藝術大学大学美術館

会期：2024 年 3 月 26 日 (火) ～ 5 月 19 日 (日)

作品：70220 白綾子地石畳将棋模様小袖 1 領 計 1 件 1 点

・創建 1200 年記念特別展「神護寺一空海と真言密教のはじまり」 東京国立博物館

会期：2024 年 7 月 17 日 (水) ～ 9 月 8 日 (日)

作品：60004-2 神護寺一切経帙	1 枚	
60004-3 神護寺一切経帙	1 枚	
60005-2 神護寺一切経帙	1 枚	
60006 神護寺一切経帙	1 枚	
10767 伝藤原光能像 冷泉為恭筆	1 幅	
00013 金剛般若経解題残卷	1 幅	計 6 件 6 点

- ・特別展「文明の十字路 バーミヤン大仏の太陽神と弥勒信仰ーガンダーラから日本へー」
三井記念美術館
会期： 2024 年 9 月 14 日（土）～ 11 月 12 日（火）
作品： 10014 重要文化財 法相曼荼羅 1 幅 計 1 件 1 点
- ・秋季特別展「うましうるはし日本の食事」 MIHO MUSEUM
会期： 2024 年 9 月 28 日（土）～ 12 月 15 日（日）
作品： 10352 伊勢参宮道中図屏風 6 曲 1 双 計 1 件 2 点
- ・五島美術館特別展「古裂賞玩一舶来染織がつむぐ物語」 五島美術館
会期： 2024 年 10 月 22 日（火）～ 12 月 1 日（日）
作品： 70001 織物手鑑 1 帖
40091 重要文化財 肩衝茶入 銘 松屋 及び 仕覆（4 点） 1 件
40001 重要文化財 丸壺茶入 銘 相坂 及び 仕覆（4 点） 1 件 計 3 件 11 点
- ・「儒教のかたち こころの鑑 日本美術に見る儒教」 サントリー美術館
会期： 2024 年 11 月 27 日（火）～ 2025 年 1 月 26 日（日）
作品： 90255 孝子伝図画像鏡 1 面
90300 三楽八花鏡 1 面
10220 藤原惺窩閑居図 狩野山雪筆 1 幅
10312 両帝図屏風 狩野探幽筆 6 曲 1 双 計 4 件 5 点
- ・特別展「茶碗一茶の湯にふれるー」 岡山県立博物館
会期： 2025 年 1 月 31 日（金）～ 3 月 16 日（日）
作品： 40271 重要文化財 雨漏茶碗 1 口
40235 三島茶碗 銘 上田暦手 1 口
40157 信楽焼締茶碗 銘 水のこ 1 口
41194 銕絵洞庭秋月図茶碗 尾形乾山作 1 口 計 4 件 4 点
- ・茨城県立歴史館令和 6 年度春の特別展「雪村一常陸に生まれし歴遊の画僧ー」
茨城県立歴史館
会期： 2025 年 2 月 15 日（土）～ 4 月 6 日（日）
作品： 10685 龍虎図屏風 雪村周継筆 6 曲 1 双
10546 潘閼図 祖栄筆 1 幅 計 2 件 3 点
- ・「Recasting the Past: The Art of Chinese Bronzes, 1100–1900」
The Metropolitan Museum of Art
会期： 2025 年 3 月 3 日（火）～ 9 月 28 日（日）
作品： 30155 古銅獅子耳花入 1 口
30156 古銅筋象耳花入 1 口 計 2 件 2 点
- ・企画展「雪華の刀装具ー土井利位の愛刀と工人たちー」 古河歴史博物館
会期： 2025 年 3 月 15 日（水）～ 5 月 6 日（火）
作品： 80858 雪華図鐔 後藤一乗作 1 枚
80857 雪華図鐔 後藤一乗作 1 枚
80862 雪華図鐔 後藤一乗作 1 枚
80872 四君子図鐔 後藤一乗作 1 枚
80864 雪華図大小鐔 後藤一乗作 2 枚
80233 俱利伽羅龍図三所物（小柄・筭・目貫） 後藤一乗作 1 揃

80235	獅子戯宝図三所物（小柄・筭・目貫）	後藤一乗作	1 揃	
80304	玄猪図二所物（小柄・目貫）	後藤一乗作	1 揃	
80264	蟻蠅図二所物（小柄・筭）	浜野政信作	1 揃	
80289	月梅茅屋図小柄	後藤真乗作	1 本	
80290	大根鼠図小柄	後藤真乗作	1 本	
80434	芭蕉図小柄	浜野政信作	1 本	
80674	河越虎図縁頭	浜野政信作	1 組	
80673	月出松図縁頭	浜野政信作	1 組	計 14 件 26 点
・ 春季特別展「うつくしかな—平安の美と王朝文化へのあこがれ—」				MIHO MUSEUM
会期： 2025 年 3 月 15 日（土）～ 6 月 8 日（日）				
作品： 00002	柏木切 伝 藤原忠家筆		1 幅	
00303	重要美術品 戊辰切 藤原伊行筆		1 幅	
00348	小島切 伝 小野道風筆		1 幅	
00571	山名切 藤原基俊筆		1 幅	計 4 件 4 点
合計 11 機関				42 件 65 点

（１５）画像の貸出

本年度は、164 件の申請を受け、461 画像を館外の刊行物や研究者に提供した。その内、貸出し件数の多いものは以下のとおりである。

燕子花図屏風 59 件、那智瀧図 6 件、漁村夕照図 5 件、平家物語画帖・源氏物語図 4 件

（１６）施設の貸与

以下の茶会等に講堂・茶室等の施設を貸与し、催事への協力を行った。

・ 茶会（茶室、講堂）

[2024 年]	主となる団体または茶会名	用途	人数
4 月 13 日	芳賀孝雄追善茶会	茶会	40 名
4 月 17 日	葉室 頼俊	茶会	17 名
6 月 2 日	茶衆・聚	茶会	128 名
6 月 8 日	公益財団法人 上田流和風堂	茶会	94 名
7 月 7 日	もりお喫茶宴	茶会	62 名
9 月 14 日	ガンダーラ茶会	茶会	7 名
9 月 21 日	黒江屋	茶会	27 名
9 月 23 日	壺国城	茶会	37 名
10 月 5 日	両忘庵茶道同好会	茶会	8 名
10 月 6 日	両忘庵茶道同好会	茶会	11 名
10 月 11 日	大原庵	茶会	10 名
10 月 14 日	雅集会	茶会	150 名
11 月 3 日	三田福茶会・慶應茶道会	茶会	257 名
11 月 9 日	秋の茶会	茶会	17 名
11 月 30 日	芳心會	茶会	77 名
11 月 30 日	日本橋倶楽部	茶会	33 名

12月7日	同風茶会	茶会	132名
12月8日	摘星会	茶会	47名
12月21日	壺国城	茶会	34名
12月22日	壺国城	茶会	34名
3月24日	公益財団法人大師会	茶会	239名
3月25日	公益財団法人大師会	茶会	332名
3月30日	倉科茶道教室	茶会	129名
3月30日	壺国城	茶会	28名
			計 1,950 名

II 収益事業

【事業の概要】

1. 不動産事業

日本殖産興業株式会社と持分割合二分の一で建築した「青山サンライトビル」を建物の当館持分を貸店舗として日本殖産興業株式会社に賃貸し、管理は日本殖産に業務委託。他に、サンライトビル日本殖産持分の地代、駐車場の賃料、NTT ドコモの移動通信設備設置料等の収入があった。

III 庶務の概要

1. 役員

2025年3月31日現在

役職名	勤務	氏 名	就任年月日 (初就任年月日)	職 歴		
				現職名	最終公務員暦・同一 業界	
					関係歴	退職年 月日
理事長	非常勤	根津 公一	2024年6月19日 (2012年4月1日)	株式会社東武百貨店 名誉会長	学校教育	な し
常務 理事	非常勤	岡橋 輝和	2024年6月19日 (2020年6月26日)	山九株式会社 社外取締役	な し	〃
理事	非常勤	島尾 新	2024年6月19日 (2012年4月1日)		学校教育	〃
〃	非常勤	渡邊 喜雄	2024年6月19日 (2014年5月30日)	WATAKI 株式会社 代表取締役会長	な し	な し
〃	非常勤	板倉 聖哲	2024年6月19日 (2014年5月30日)	東京大学東洋文化研究所 教授	学校教育	〃
〃	常 勤	柳瀬 茂	2024年6月19日	公益財団法人根津美術館	〃	〃

			(2018年5月28日)	管理部長		
〃	常勤	野口 剛	2024年6月19日 (2022年5月25日)	公益財団法人根津美術館 学芸部長	〃	〃
〃	非常勤	佐野 みどり	2023年3月15日 (2023年3月15日)	國華主幹	学校教育	〃
〃	非常勤	前田 晃伸	2023年3月15日 (2023年3月15日)		NHK 元会長	2023年 1月
〃	非常勤	森 浩生	2023年3月15日 (2023年3月15日)	森ビル株式会社 取締役副社長執行役員	な し	〃
〃	非常勤	安田 守	2023年3月15日 (2023年3月15日)	安田不動産株式会社 代表取締役社長	〃	〃
〃	非常勤	土屋 範子	2025年3月19日 (2025年3月19日)		〃	〃
		12名				
監事	非常勤	後藤 康雄	2024年6月19日 (2012年4月1日)	はごろもフーズ株式会社 代表取締役会長	な し	な し
〃	非常勤	中瀬 雅通	2024年6月19日 (2013年5月29日)	株式会社三陽商会 相談役	〃	〃
		2名				
評議員	非常勤	根津 嘉澄	2024年6月19日 (2012年4月1日)	東武鉄道株式会社 代表取締役会長	〃	〃
〃	非常勤	秋山 智史	2024年6月19日 (2012年4月1日)	富国生命保険相互会社 相談役	〃	〃
〃	非常勤	堀内 光一郎	2024年6月19日 (2012年4月1日)	富士急行株式会社 代表取締役社長	〃	〃
〃	非常勤	山崎 妙子	2024年6月19日 (2012年4月1日)	公益財団法人山種美術財団 理事長	美術館	〃
〃	非常勤	徳川 義崇	2024年6月19日 (2012年4月1日)	公益財団法人徳川黎明会 会長	〃	〃
〃	非常勤	根津 后方子	2024年6月19日 (2012年4月1日)	公益財団法人根津美術館 評議員	な し	〃
〃	非常勤	近藤 誠一	2024年6月19日 (2014年3月19日)	近藤文化・外交研究所 代表	文化庁 長官	2013年 7月
〃	非常勤	池田 康夫	2024年6月19日 (2021年3月24日)	学校法人根津育英会武蔵学園 学園長 兼 副理事長	学校教育	な し
〃	非常勤	米山 好映	2024年6月19日 (2024年6月19日)	富国生命保険相互会社 取締役会長	保険業	〃
		9名				

2. 職員

2025 年 3 月 31 日現在

職 名	勤 務	氏 名	就職年月日	担当事務
館 長	非常勤	根 津 公 一	2000 年 1 月 4 日	総 括
学芸部長 兼学芸第一課長	常 勤	野 口 剛	2008 年 10 月 1 日	近世絵画・学芸部総括・情報管理
学芸第二課長	常 勤	本 田 諭	2018 年 4 月 1 日	仏教美術・中世絵画・環境整備
学芸第一課	常 勤	下 村 奈穂子	2014 年 9 月 1 日	陶磁史・茶道・学芸庶務
学芸第一課	常 勤	玉 井 あ や	2020 年 4 月 1 日	染織史・茶道・学芸庶務
学芸第二課主任	常 勤	永 田 智 世	2018 年 4 月 1 日	漆工史・茶道・学芸庶務
学芸第二課	常 勤	福 島 洋 子	2009 年 4 月 1 日	墨跡・図書管理・学芸庶務
学芸部次長 [広報担当]	常 勤	所 純 子	2012 年 12 月 1 日	広報全般
学芸部広報課長	常 勤	村 岡 香代子	2013 年 1 月 1 日	広 報
学芸部広報課	常 勤	荒 川 麻美子	2009 年 4 月 1 日	ショップ・画像管理
管理部長	常 勤	柳 瀬 茂	2018 年 1 月 1 日	管 理 部 総 括
管理部次長	常 勤	鈴 木 康 生	2001 年 4 月 11 日	設備管理・顧客サービス
管理部次長	常 勤	藤 江 暁	2019 年 10 月 1 日	設備管理・顧客サービス
管 理 部	常 勤	田 中 智 子	1990 年 9 月 1 日	総 務
管 理 部	常 勤	松 井 麻 美	2009 年 4 月 1 日	顧客・会計
管 理 部	常 勤	石 川 彩 花	2022 年 8 月 1 日	顧 客
管 理 部	常 勤	高 室 修	1975 年 3 月 1 日	施設管理
		職員 17 名	他に臨時職員 26 名	

顧 問	非常勤	岡 橋 輝 和	2020 年 6 月 26 日	全 般
顧 問	常 勤	西 田 宏 子	2014 年 6 月 1 日	学 芸 部
顧 問	常 勤	松 原 茂	2024 年 7 月 1 日	学 芸 部
顧 問	非常勤	宇田川 真紀雄	2016 年 4 月 1 日	全 般
		顧問 4 名		

3. 役員会

(1) 理事会

第 46 回

開催日 2024 年 5 月 22 日 (水)

場所 根津美術館地下 1 階講堂

議事事項

第 1 号議案 2023 年度事業報告書の件

根津理事長より、同案についての内容説明があった。質疑応答を経て審議の結果、原案を出

席理事全員一致で承認可決した。

第2号議案 2023年度正味財産増減決算書の件

事務局より、同案についての内容説明があった。質疑応答を経て審議の結果、原案を出席理事全員一致で承認可決した。

報告事項

① 理事長の業務の執行状況の件

根津理事長より、業務の執行状況について報告があった。

② 常務理事の業務の執行状況の件

岡橋常務理事より、業務の執行状況について報告があった。

③ 理事及び監事の再任の件

根津理事長より、6月19日評議員会終結の時をもって、理事8名並びに監事2名が任期満了となること、またこのうち松原理事を除く理事7名及び監事2名について同評議員会に再任の付議を行う予定であるとの表明があった。根津理事長より、評議員会で再任が承認されれば、6月19日付で理事、監事の再任に応じて欲しいとの発言があった。

第47回

開催日 2024年6月19日(水)

場所 根津美術館 地下1階講堂

議事事項

第1号議案 理事長選任の件

柳瀬理事より、理事長として根津公一理事の推薦があり、出席理事全員一致により承認可決した。席上にて、根津公一氏が就任を承諾し、理事長に就任した。

第2号議案 常務理事選任の件

根津公一理事長より、常務理事として岡橋輝和理事の推薦があり、出席者全員一致により承認可決した。席上にて、岡橋輝和氏が就任を承諾し、常務理事に就任した。

第48回

開催日 2024年10月9日(水)

場所 根津美術館 地下1階講堂

議事事項

第1号議案 美術品(重要文化財 楼閣人物填漆筆筥)購入の件

野口学芸部長より、同案についての内容説明があった。質疑応答を経て審議の結果、原案を出席理事全員一致で承認可決した。

報告事項

① 2025年度展覧会スケジュールの件

野口学芸部長より、本件について報告があった。

② 理事長の業務の執行状況の件

根津理事長より、業務の執行状況について報告があった。

③ 常務理事の業務の執行状況の件

岡橋常務理事より、業務の執行状況について報告があった。

第 49 回

開催日 2025 年 3 月 12 日（水）

場所 根津美術館 地下 1 階講堂

議事事項

第 1 号議案 2025 年度事業計画書の件

議長の指名により、野口理事学芸部長が同案についての内容説明を行った。質疑応答を経て審議の結果、原案を出席理事全員一致で承認可決した。

第 2 号議案 2025 年度正味財産増減予算書の件

議長の指名により、柳瀬理事管理部長が同案についての内容説明を行った。予算内容に加え、主要な支出案件の説明も行った。質疑応答を経て審議の結果、予算案としては原案を出席理事全員一致で承認可決した。

報告事項

① 理事長の業務の執行状況の件

根津理事長が記載した業務の執行状況の報告文書を、事務局が理事長に代わって代読した。

② 常務理事の業務の執行状況の件

岡橋常務理事より、業務の執行状況について報告があった。

（２）評議員会

第 25 回

開催日 2024 年 6 月 19 日（水）

場所 根津美術館 地下 1 階講堂

議事事項

第 1 号議案 2023 年度事業報告書の件

館長より、同案についての内容説明があった。質疑応答を経て審議の結果、原案を出席評議員全員一致で承認可決した。

第 2 号議案 2023 年度正味財産増減決算書の件

事務局より、同案についての内容説明があった。質疑応答を経て審議の結果、原案を出席評議員全員一致で承認可決した。

第 3 号議案 評議員 9 名選任の件

館長より、本評議員会の終了を以て評議員 12 名全員の任期が満了となる旨説明があり、小林喬氏、正田修氏、安田正氏、河田正也氏の 4 名が退任し、根津嘉澄氏、秋山智史氏、堀内光一郎氏、田村妙子氏、徳川義崇氏、根津后方子氏、近藤誠一氏、池田康夫氏の 8 名に重任を求め、新たに米山好映氏に就任を求める、との申し出があった。続いて候補者一人一人に関して、氏名の他、生年、略歴、当財団法人との関係等について説明がなされ、各候補者について審議の結果、原案どおり出席評議員全員一致で承認可決した。

第 4 号議案 監事 2 名選任の件

館長より、本評議員会の終了を以て監事 2 名全員の任期が満了となる旨説明があり、後藤康夫氏、中瀬雅通氏の 2 名に重任を求める、との申し出があった。続いて候補者一人一人に関して、氏名の他、生年、略歴、当財団法人との関係等について説明がなされ、各候補者について審議の結果、原案どおり出席評議員全員一致で承認可決した。

第 5 号議案 理事 7 名選任の件

館長より、本評議員会の終了を以て理事 8 名の任期が満了となる旨説明があり、松原茂氏が退任し、根津公一氏、岡橋輝和氏、島尾新氏、渡邊喜雄氏、板倉聖哲氏、柳瀬茂氏、野口剛氏の 7 名に重任を求める、との申し出があった。続いて候補者一人一人に関して、氏名の他、生年、略歴、当財団法人との関係等について説明がなされ、各候補者について審議の結果、原案どおり出席評議員全員一致で承認可決した。

第 26 回

開催日 2025 年 3 月 19 日（水）

場所 根津美術館 地下 1 階講堂

議事事項

第 1 号議案 2025 年度事業報告書の件

野口理事学芸部長より、同案についての内容説明があった。質疑応答を経て審議の結果、原案を出席評議員全員一致で承認可決した。

第 2 号議案 2025 年度正味財産増減決算書の件

事務局より、同案についての内容説明があった。また、あわせて主な設備関係の支出内容及び概算金額についても説明がなされた。質疑応答を経て審議の結果、原案を出席評議員全員一致で承認可決した。

第 3 号議案 理事 1 名選任の件

岡橋常務理事より、候補者土屋範子氏について説明があった。審議の結果、原案を出席評議員全員一致で承認可決した。

報告事項

- ① 評議員会に初めて出席した米山好映評議員から、挨拶があった。
- ② 事務局から、根津理事長が事情により出席できない旨、報告があった。

IV 事業報告の附属明細書

事業報告の内容を補足する重要な事項はありません。